

水の郷 ニュース

柳川総合保健福祉センター
「水の郷」
「水の郷くらぶ」
柳川市上宮永町 6-3 ☎ 75-6200
FAX75-6210

- 開館時間 午前9時～午後9時(温泉は、午前10時～午後8時30分で入場は午後8時まで。図書館分室は午前10時～午後6時。すこやかルームは午前10時～午後9時)
- 1月の休館日 10日、16日、23日、30日、年末年始は12月28日～1月4日を休館



1月の水の郷シネマ
ラーメン侍

- ◆日時 14日(土)、午前10時30分、午後1時30分、午後7時の3回
- ◆料金 前売り800円、当日1000円 ※当日券は販売中止もあり。回数券は6枚で5000円。1年間使えます。前売り券、回数券の払い戻し不可。

柳川温泉「南風」イベント 日本舞踊 泉流 泉徳弓社中



「初春を舞う」

日本舞踊「泉徳弓社中」の皆さんが「初春を舞う」と題して日本舞踊を披露します。華やかな踊りをお楽しみください。

- ◆日時 1月22日(日)、午後1時～
- ◆料金 観覧無料(ただし温泉入場料は必要)

柳川温泉は1月2日と3日、臨時営業します

1月2日(月)と3日(火)の午前10時から午後5時30分(入場は午後5時まで)は、水の郷内の柳川温泉「南風」を臨時営業します。2日は南風特製タオルをプレゼント(無くなり次第終了)。



水の郷 ホール

1月の主な催し

- ◆イトオテルミー温熱療法講演会 15日(日)、午後2時～、入場無料
【問】 めぐみ助産院の寺田さん ☎ 090・1081・5734
- ◆ダンススポーツ蒲池 ダンスパーティー 22日(日)、午後1時30

- 分～、参加費1000円、見学無料
【問】 ダンススポーツ蒲池の洪田さん ☎ 73・1712
- ◆ウィング古賀 ダンスパーティー 29日(日)、午後1時30分～、参加費1000円、見学無料
【問】 ウィング古賀の古賀さん ☎ 74・3302

ヤング川柳大会入選者表彰式 大震災をテーマに句を披露



第17回ヤング川柳大会の入選者表彰が12月11日にあめんぼセンターでありました。小学生の部では、『世界からはっしんされる愛のもし』と詠んだ城内小5年の甲木侑那さん、中高生の部では『南大門阿汗の呼吸を感じけり』と詠んだ柳川高校2年の濱田大夢君が、それぞれ最優秀賞に輝きました。入選作品は作品集にして各図書館に置いています。

1月の無料映画会

1月14日(土)、午前11時～=名画劇場「川の底からこんにちは」(112分)、午後3時～=子ども映画「きかんしゃやえもんD51の大冒険」(72分)

おはなし会(小学生以下)

- ▶本館=毎週土曜、午後2時30分～▶三橋図書館=第2・4土曜、午後3時～▶雲龍図書館=第2土曜、午前10時30分～▶昭代分館=第1・3土曜、午前11時～▶両開分館=第2土曜、午後2時30分～▶蒲池分館=第2・4土曜、午前11時～

図書館 ニュース

▷本館☎74-4111 FAX74-4946 ▷三橋図書館☎74-6300 ▷雲龍図書館☎76-1122 ▷両開分館☎74-4116 ▷昭代分館☎74-5111 ▷蒲池分館☎74-6200 ▷水の郷分室☎75-6204

- 開館時間 午前10時～午後6時(金曜日は本館、三橋図書館、雲龍図書館とも午後8時まで)
- 1月の休館日 月曜日(三橋図書館は火曜日)※9日(月・祝)は三橋図書館と水の郷分室のみ開館。10日(火)は本館のみ開館。26日(木)は資料整理のため全館休館

12月28日から1月4日まで
全館休館

おすすめ新着図書

世界にははたたく日本力 秋山 芳弘 著 (ほるぷ出版)



日本の技術力が世界でどう活躍しているのかを紹介するシリーズの1冊。児童書ですが、鉄道車両や運行管理など詳しく紹介されているので、大人でも楽しめること間違いなし。

キッチンハーブ26種の育て方&レシピ 主婦の友社 編 (主婦の友社)



バジル、タイム、セージなど、料理に使えるハーブの中でも人気の26種の栽培方法と、それらのハーブを使ったレシピを紹介。育て方から使い方まで、ハーブを気軽に楽しめる1冊です。

スタークローシェで編む冬こもの 文化出版局 編 (文化出版局)



かぎ針1本で簡単に編める編み地のスタークローシェ。この本では、かぎ針の使い方の基本とスタークローシェを使ったバッグなどの編み方を丁寧に紹介しています。

「柳川百選」は市企画課で配布。市のホームページでもダウンロード可。問い合わせは、同課(☎77・8423)へ。



平成8(1996)年、旧三橋町が立花家から同農場を買収し、公園として整備。公募により「立花いの森」と命名され、多くの人たちから利用されています。

このように柳川地方における農業の発展に貢献してきた中山農事試験場ですが、大正時代に入ると全国各地に府県立の農事試験場が建てられ、その存在意義が薄れていきました。寛治は、試験場としての役割を十分に果たしたとして、大正9(1920)年に「立花家農場」とその名を改め、商品作物の栽培を中心に切り替えました。



▲中山農事試験場平面図『旧柳川藩主立花家文書』(立花家史料館提供)

培され、ほかにも当時の日本では珍しい作物ばかり植えられていました。普及事業では、近くの篤志家たちを集めて種苗交換会や品評会を行い、柳川地方の農家たちの技術向上や情報交換を促進。また、便覧の発行や果樹苗木の無料配布も行われました。明治26(1893)年には、大日本農学会品評会が開催され、11万人もの人が集まったという記録が残っています。試験場が特に力を入れたのが、みかんの品種改良でした。温州みかんの代表的品種「宮川早生」は、この試験場から全国に広まりました。



▲中山農事試験場の写真(立花家史料館提供)

試験場は広さが約5.5ヘクタールあり、立花いの森の約1.5倍ほどの面積でした。試験場では、試験事業と普及事業が行われました。試験事業では、外国の果物や野菜が日本で栽培できるかどうかを試験。梨とぶどうが100種以上も栽

設しました。年、寛治は自分の財産を投じて、中山農事試験場を建設しました。



立花いの森(中山農事試験場跡) 中山

柳川百選まち歩き 第33回
市民の皆さんが大切にしたいもの、誇れるものを応募のなかから「柳川百選」として選びました。このコーナーでは、シリーズで紹介していきます。郷土の素晴らしさを再発見しませんか。